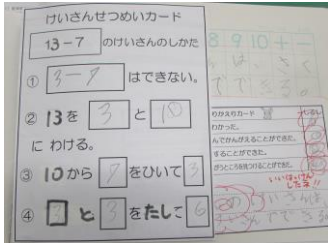


学習者主体の授業づくりに向けた「振り返り」の事例

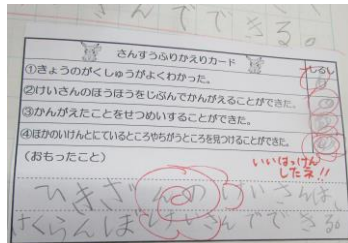
学校名	南さつま市立内山田小学校	児童生徒数	5人
-----	--------------	-------	----

振り返りをしている子供の様子や、振り返りの視点、振り返りの記述等

減加法の実践



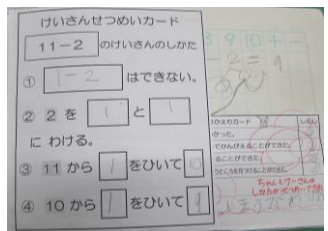
ワークシート1



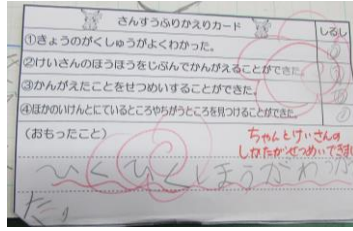
ワークシート2

ワークシート1・3は、本時の知識及び技能面の振り返りを行っている。本時のまとめだけでなく、レディネスに用いたり、単元の総復習の際にも、活用したりしている。また、家庭学習での音読にも活用している。ワークシート2・4は、学びに向かう力の振り返りである。本時で学んだことを自分の言葉で記述させている。担任の見届けが次時への意欲付けとなっている。

減減法の実践



ワークシート3



ワークシート4

取組についての概要（成果）

第1学年 算数科 「ひきざん」の実践

振り返りについては、毎時間、ワークシートに記述させ、それをノートに添付させている。1年生という発達段階を考慮し、全てを記述させるのではなく、知識及び技能の振り返りではキーとなる言葉の穴埋め形式にした。一方、学びに向かう力の振り返りは、選択式と記述式の両方を用いている。

児童の記述の中で、「さくらんぼけいさん」や「ひくたすほう（減加法）」「ひくひくほう（減減法）」と、いった言葉が見られる。これは、授業が進む中で、授業者とのやり取りの中で生まれた言葉である。これらの言葉を用いることにより、前時との学習内容の違いが明確になった。

また、終末に本時間の適用問題を実施し、学力の定着を図っている。